

# 「菅政権100日評価」 アンケート集計結果

2010年12月27日



# 菅政権100日評価アンケートの概要

## <調査の概要>

言論NPOの活動にこれまで参加していただいた全国の有識者約2000人を対象に、12月初旬から約2週間の期間でアンケートの回答を依頼し、回答のあった508人の回答内容を分析した。

## <回答者の属性>

回答数	508	職業	公務員:6.1% サラリーマン:10.0% 企業経営者:2.6% 企業幹部:4.1% マスコミ関係者:6.7% 学者・研究者:2.8% NPO・団体関係者:4.7% 政治家:0.4% 大学生:3.0% 自営業:2.8% 自由業:3.0% 無回答:53.9%
性別	男性:44.5% 女性:7.7% 無回答:47.8%		
年齢	18～30歳:5.7% 31～40歳:6.9% 41～50歳:11.6% 51～60歳:11.8% 61歳以上:13.4% 無回答:50.6%		

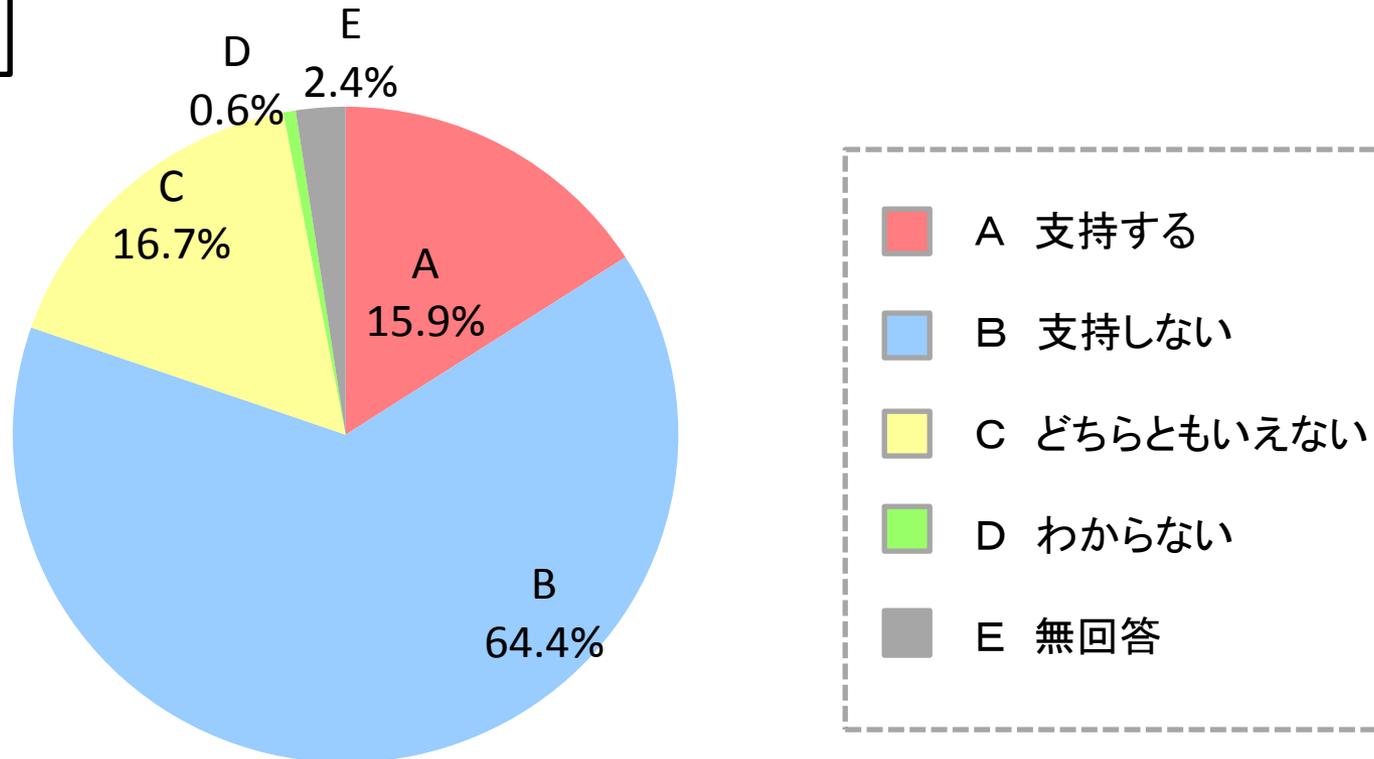
※この頁以降、数値は小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%とならない場合があります。

# 菅政権を支持するか

問1. あなたは、現在の菅政権を支持しますか。【単数回答】

100日時点での菅政権の支持率は15.9%となり、1年前の鳩山政権の支持率(33.0%)を大きく下回っています。

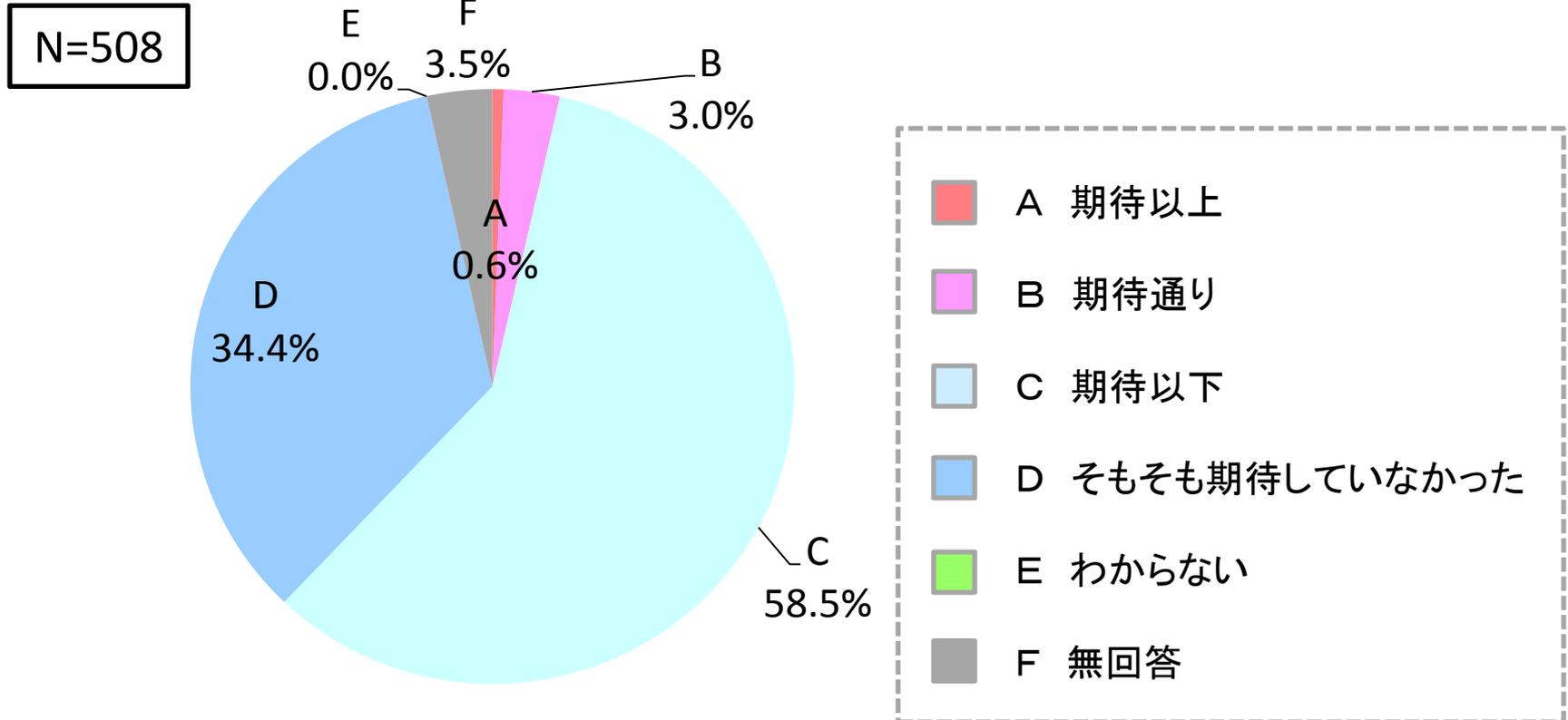
N=508



# 当初の期待と比べて

問2. 菅改造内閣は12月25日で発足100日を迎えます。現在までの菅政権は、あなたが発足時に抱いていた期待に比べどうでしたか。【単数回答】

発足時と比べたときに、58.5%もの人が「期待以下」を評価しており、「そもそも期待していなかった」との回答も34.4%にのぼっています。

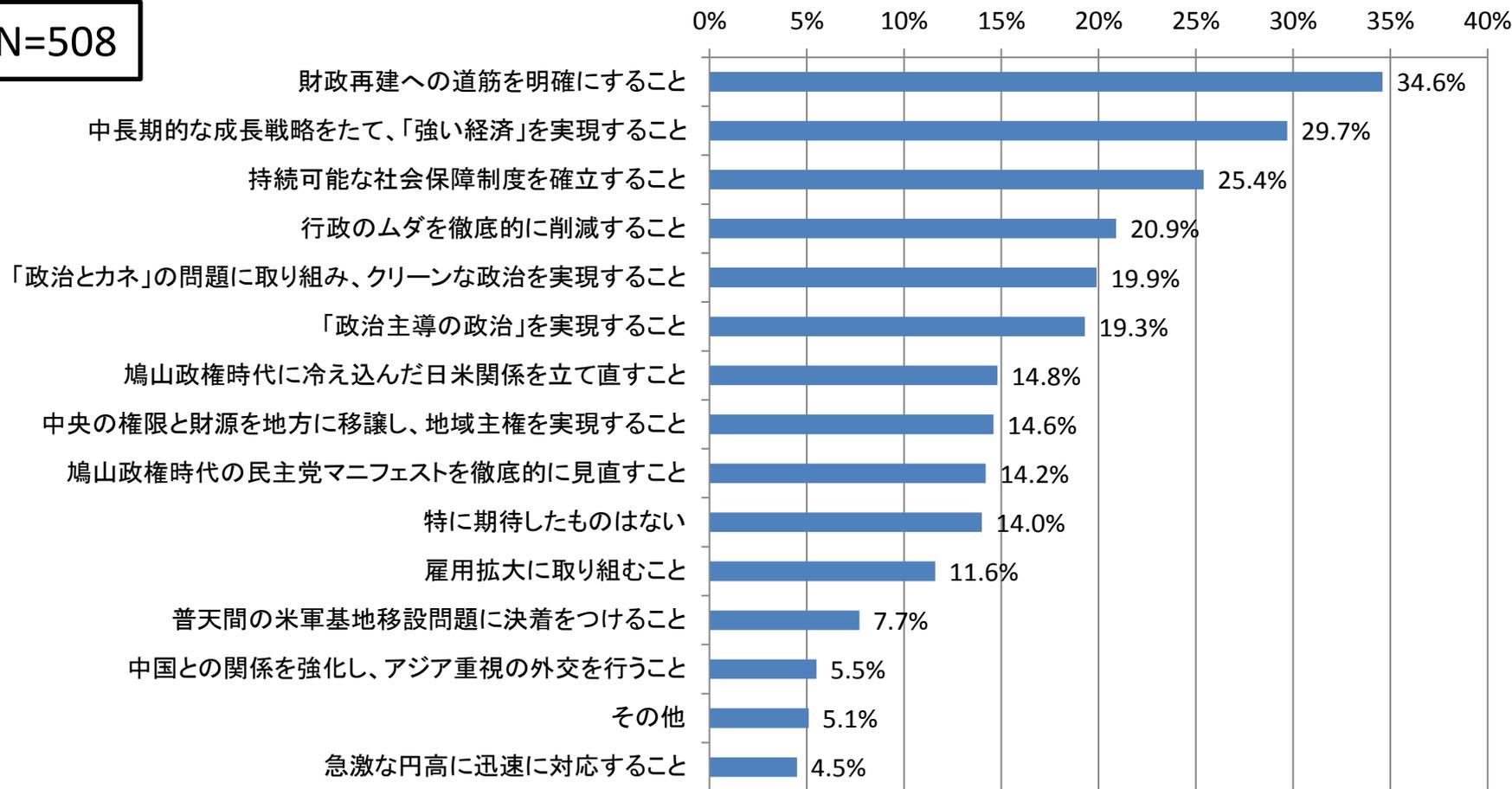


# 菅政権に期待した役割とは

問3. あなたが菅政権に期待した役割は何ですか。【3つまで回答】

最も多かった回答は、「財政再建への道筋を明確にすること」(34.6%)、次に多かったのは「中長期的な成長戦略をたて、「強い経済」を実現すること」(29.7%)でした。一方で、「特に期待したものはない」との回答も14.0%となっています。

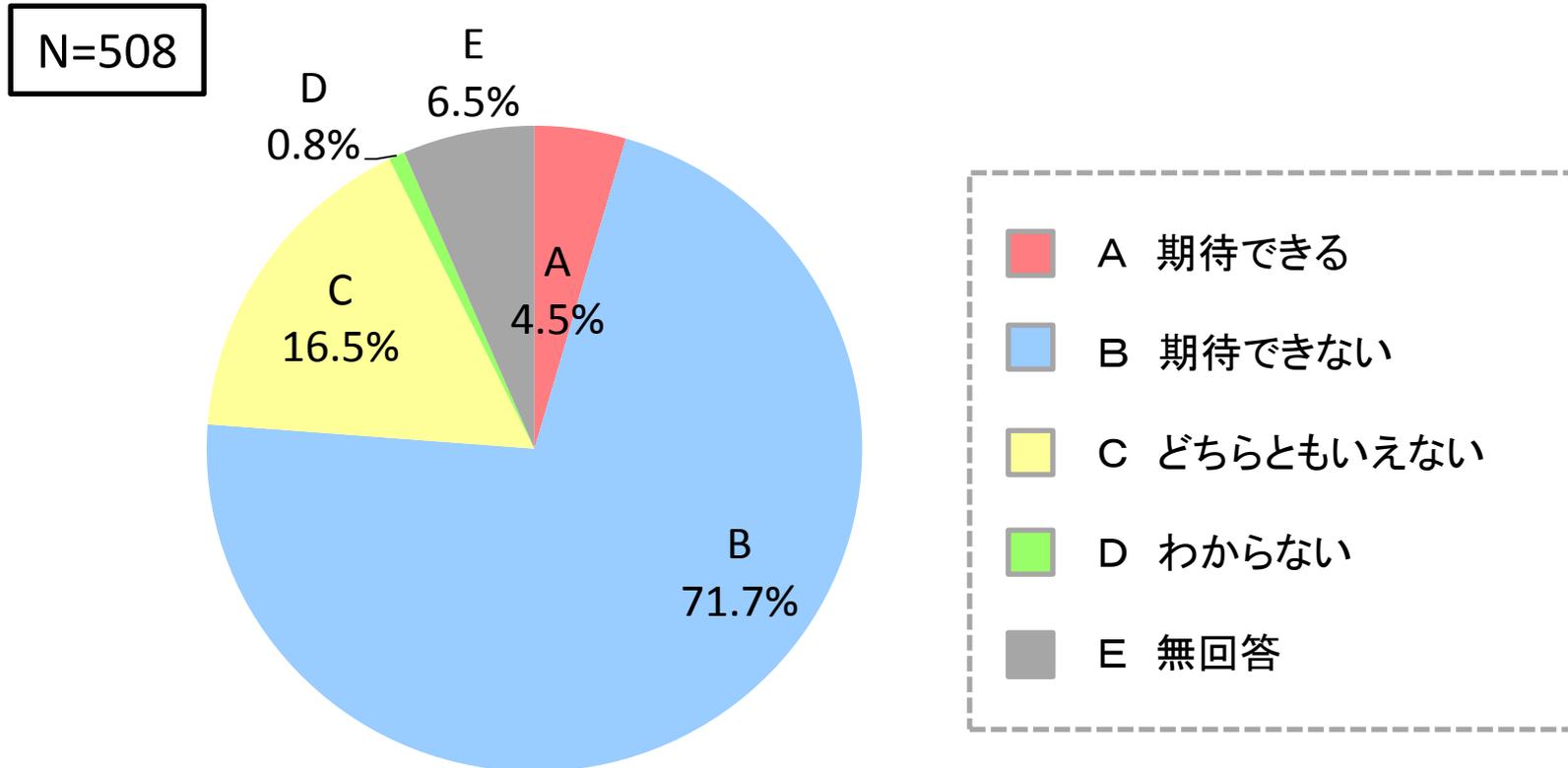
N=508



# 今後の政権運営に期待できるか

問4. 菅政権の100日間をご覧になって、菅政権の今後の政策運営にあなたは期待できますか。【単数回答】

今後の政権運営については、71.7%もの人が「期待できない」と回答しています。

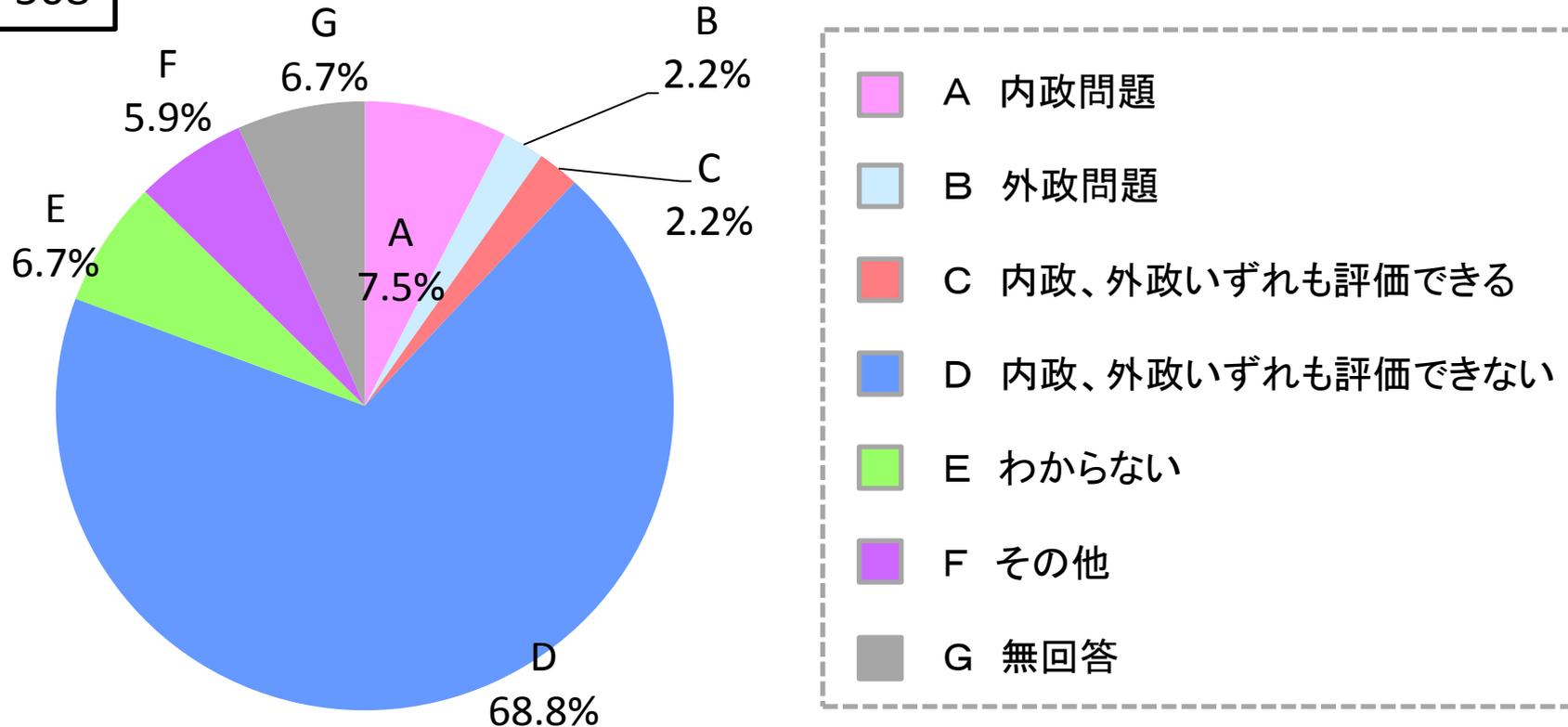


# 100日間で評価できるものは

問5. 菅政権のこれまでの100日間で、評価できるものは何だと思えますか。  
【単数回答】

内政問題、外政問題に対する菅政権の取り組みについて、最も多かったのは「内政、外交いずれも評価できない」との回答で、68.8%にのぼりました。「いずれも評価できる」と回答した人はわずか2.2%にとどまっています。

N=508



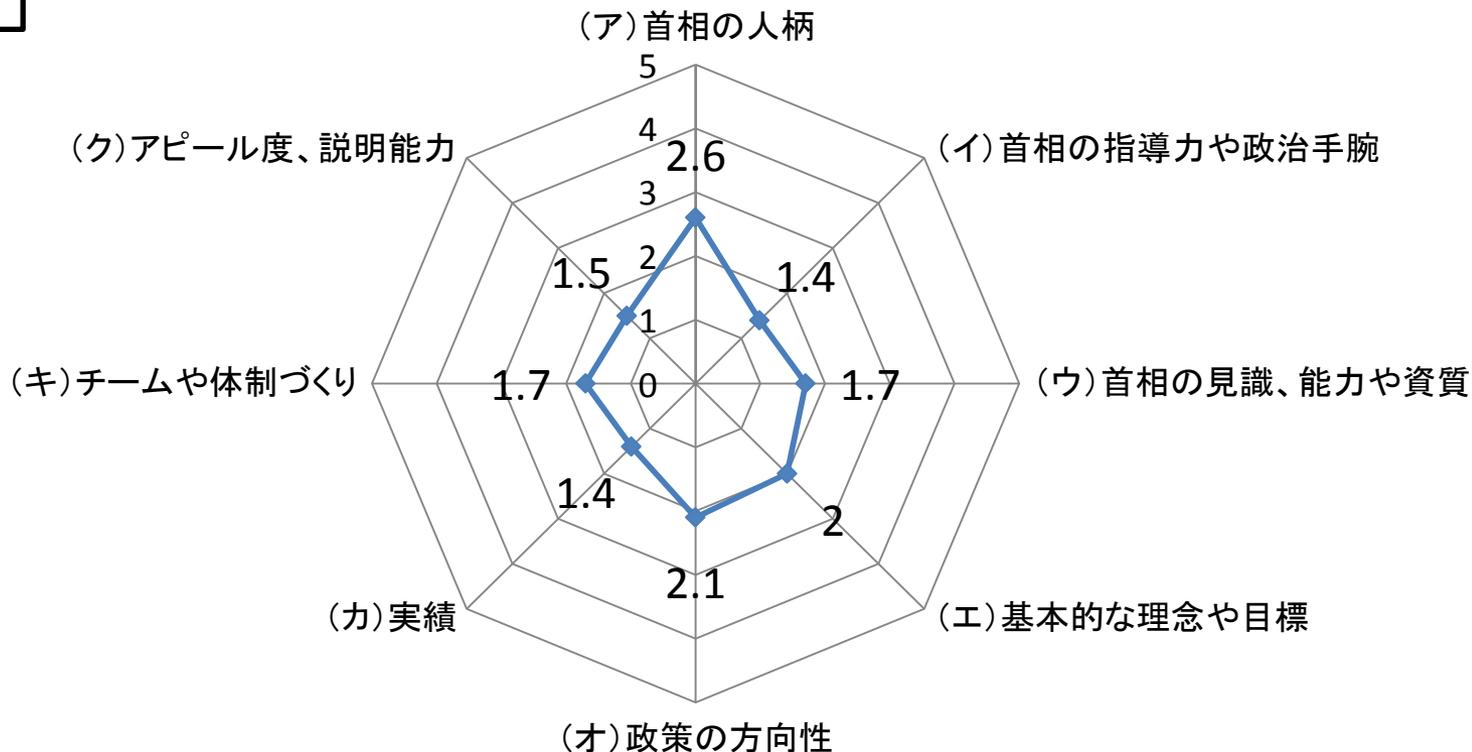
# 菅政権の全体評価—首相の評価①

問6. 菅政権の100日間をご覧になって、首相の実績や資質をあなたはどのように評価しますか。【単数回答】

首相の「100日間の実績」や「首相の資質」は5点満点で1.8点。「これまでの政策面での実績」については1.4点と極めて厳しい評価となりました。

N=508

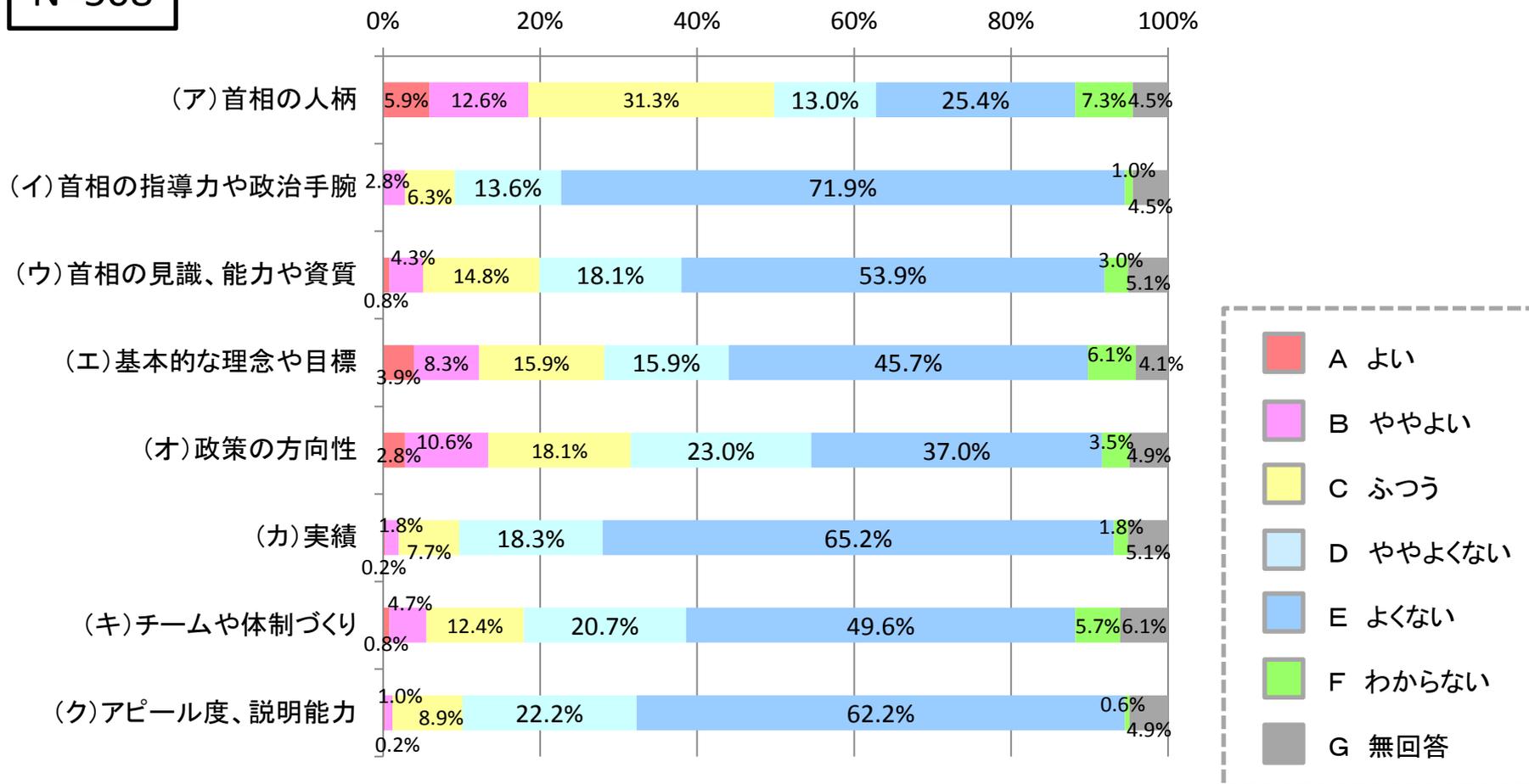
全体平均: 1.8点



# 菅政権の全体評価—首相の評価②

問6. 菅政権の100日間をご覧になって、首相の実績や資質をあなたはどのように評価しますか。【単数回答】

N=508



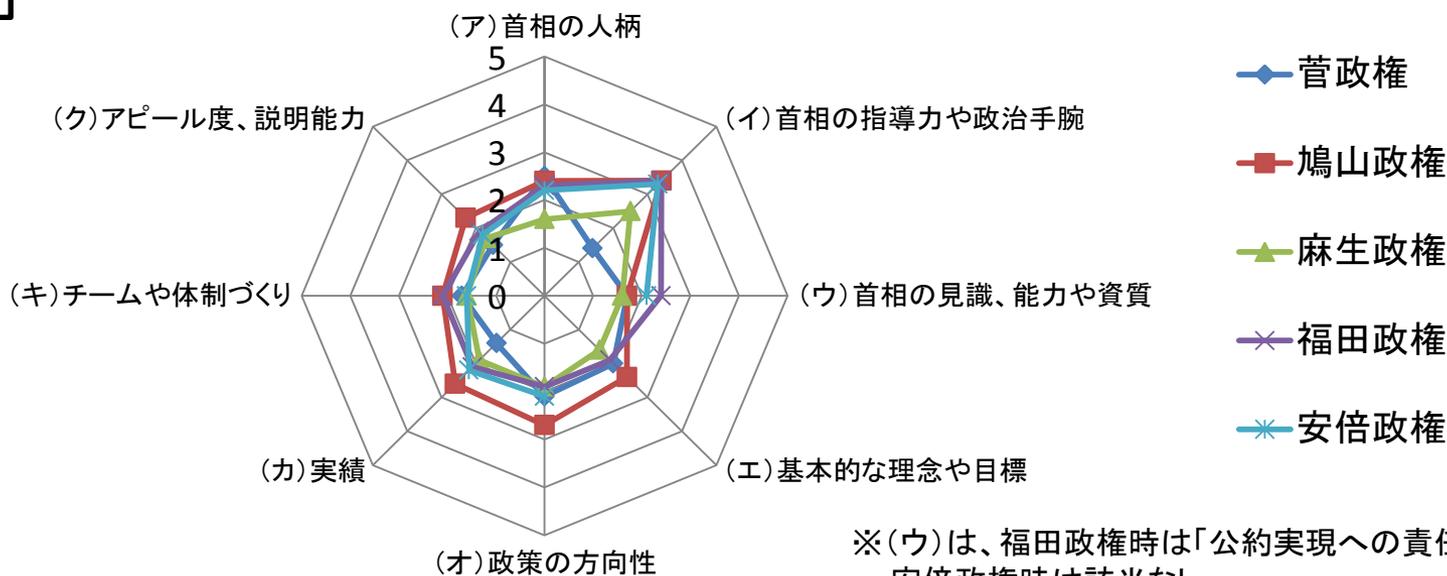
# 菅政権の全体評価—首相の評価③

## (過去4政権との比較)

問6. 菅政権の100日間をご覧になって、首相の実績や資質をあなたはどのように評価しますか。【単数回答】

全体平均:1.8点

N=508



	総合点	(ア)人柄	(イ)指導力 や政治手腕	(ウ)見識、 能力や資質	(エ)基本的 な理念や目 標	(オ)政策の 方向性	(カ)実績	(キ)チーム や体制づくり	(ク)アピー ル度、説明 能力
菅政権	1.8	2.5	1.4	1.7	2.0	2.1	1.4	1.7	1.5
鳩山政権	2.4	3.4	1.7	2.4	2.7	2.6	2.1	2.1	2.3
麻生政権	1.8	2.5	1.6	1.6	1.9	1.9	1.6	1.6	1.7
福田政権	2.3	3.4	2.4	2.1※	1.9	2.1	2.1	2.1	1.9
安倍政権	2.2	3.3	2.1	該当なし※	2.1	2.2	2.2	1.8	1.8

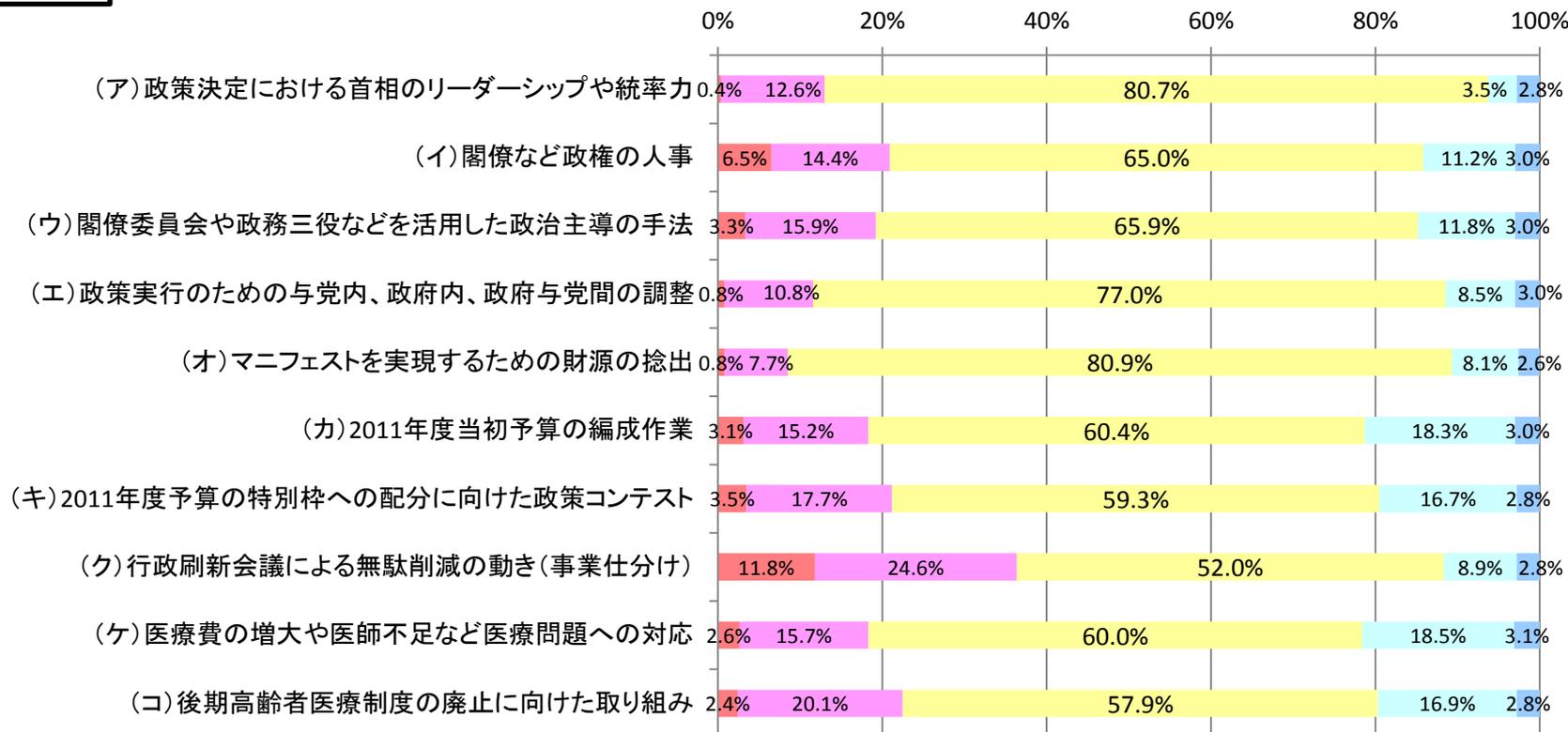
# 菅政権の政策をどう評価するか①

問7. 菅政権のこれまでの対応や打ち出している政策について、あなたはどのように思いますか。【単数回答】

菅政権がこの100日で手がけた30項目の政策分野については、「TPP参加への検討」「様々な地域、国とのEPA・FTA交渉の推進」「法人税率の引き下げなど税制への対応」を除く27項目で、「うまく対応できておらず、今後も期待できない」との評価が過半数を占めました。

- A 適切である
- B うまく対応できていないが、今後期待できる
- C うまく対応できておらず、今後も期待できない
- D わからない
- E 無回答

N=508

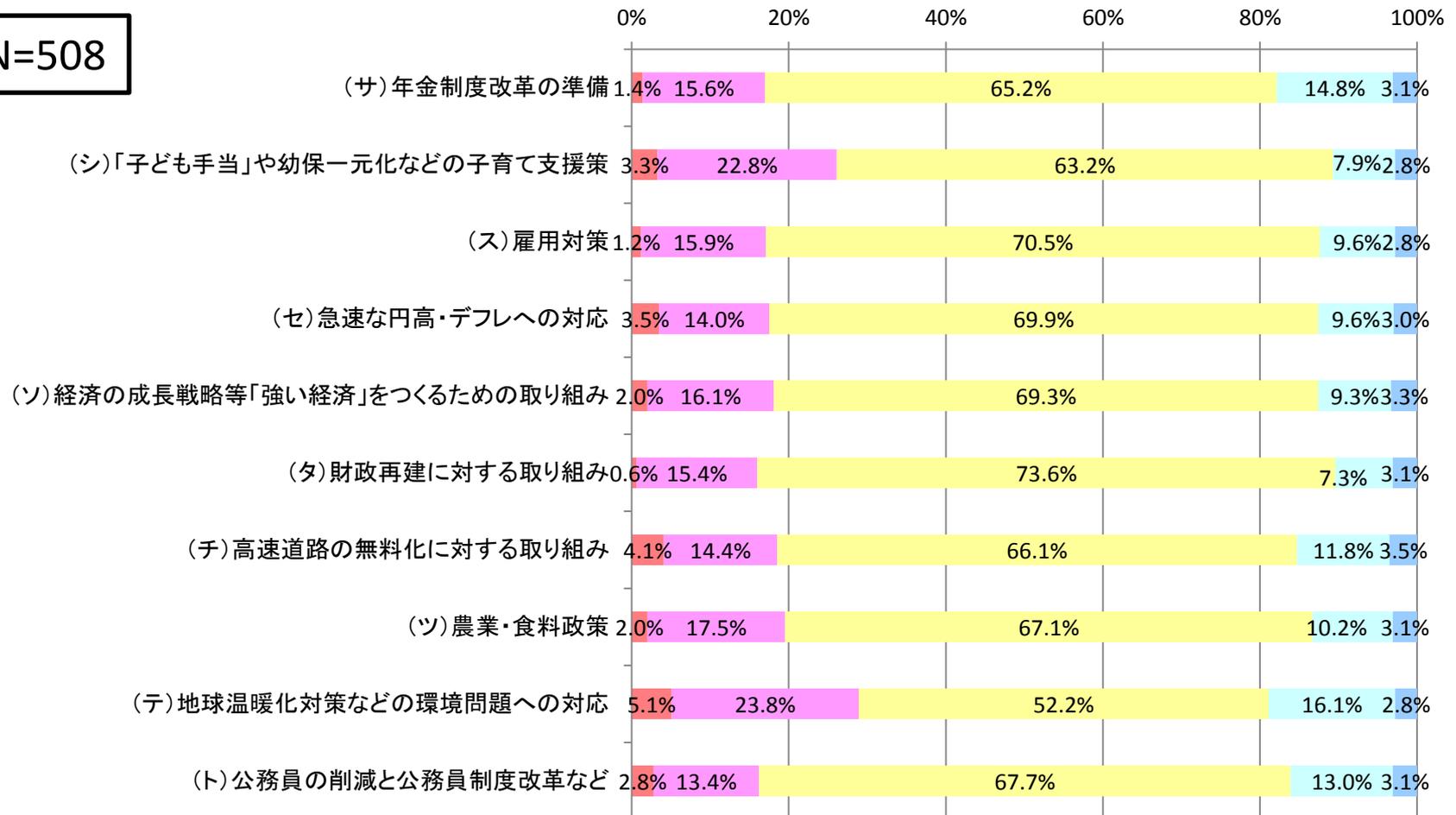


# 菅政権の政策をどう評価するか②

問7. 菅政権のこれまでの対応や打ち出している政策について、あなたはどのように思いますか。【単数回答】

- A 適切である
- B うまく対応できていないが、今後期待できる
- C うまく対応できておらず、今後も期待できない
- D わからない
- E 無回答

N=508

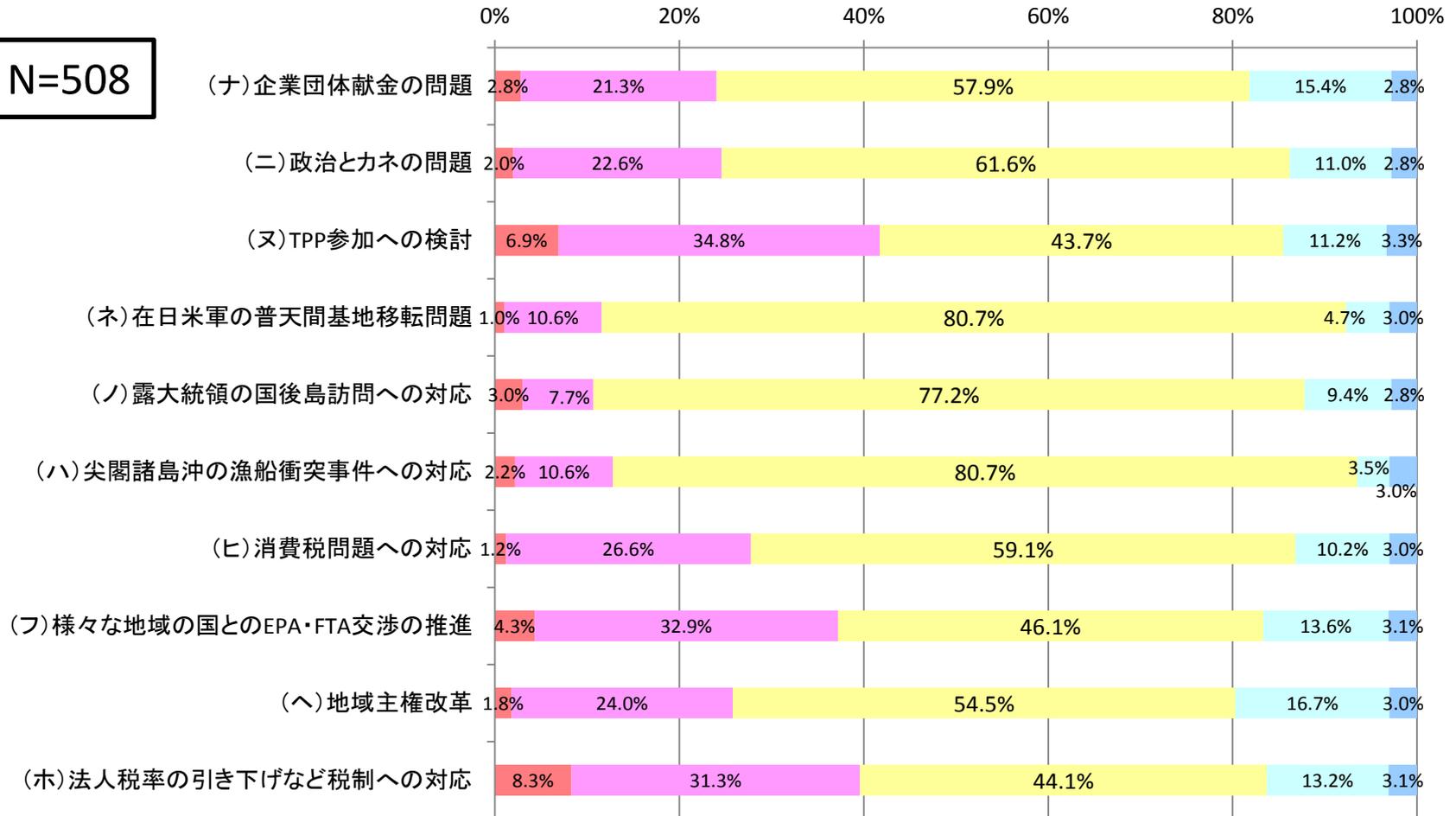


# 菅政権の政策をどう評価するか③

問7. 菅政権のこれまでの対応や打ち出している政策について、あなたはどのように思いますか。【単数回答】

- A 適切である
- B うまく対応できていないが、今後期待できる
- C うまく対応できておらず、今後も期待できない
- D わからない
- E 無回答

N=508

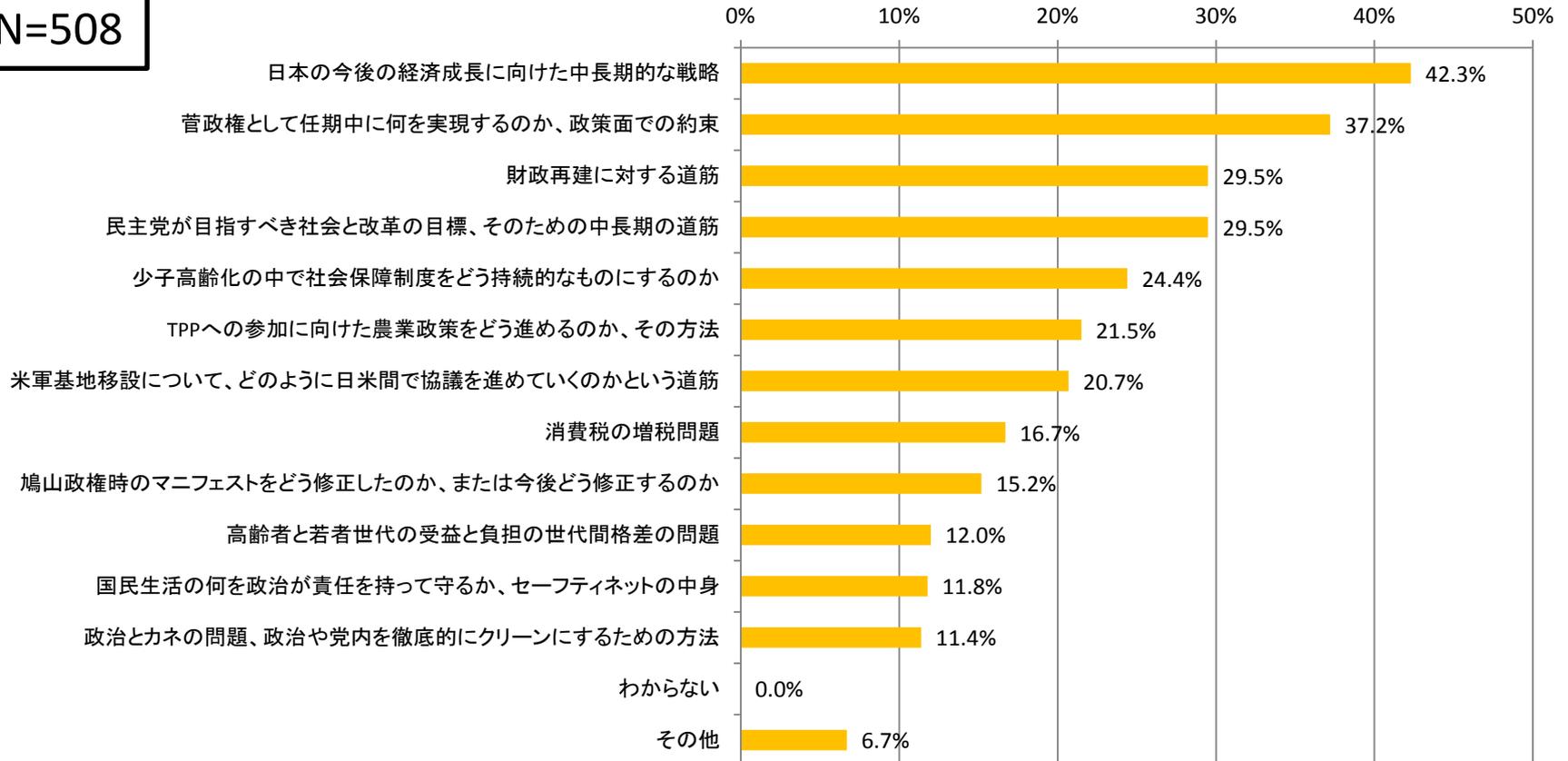


# 菅政権が説明を求められているものは

問8. あなたは、菅首相が現在、国民への説明を求められている最も大きな課題とは何だと思いますか。【3つまで回答】

菅政権が国民に説明を求められている課題で、最も多かった回答は「日本の今後の経済成長に向けた中長期的な戦略」(42.3%)。「菅政権として任期中に何を実現するのか、政策面での約束」を挙げる人も37.2%にのぼっています。

N=508

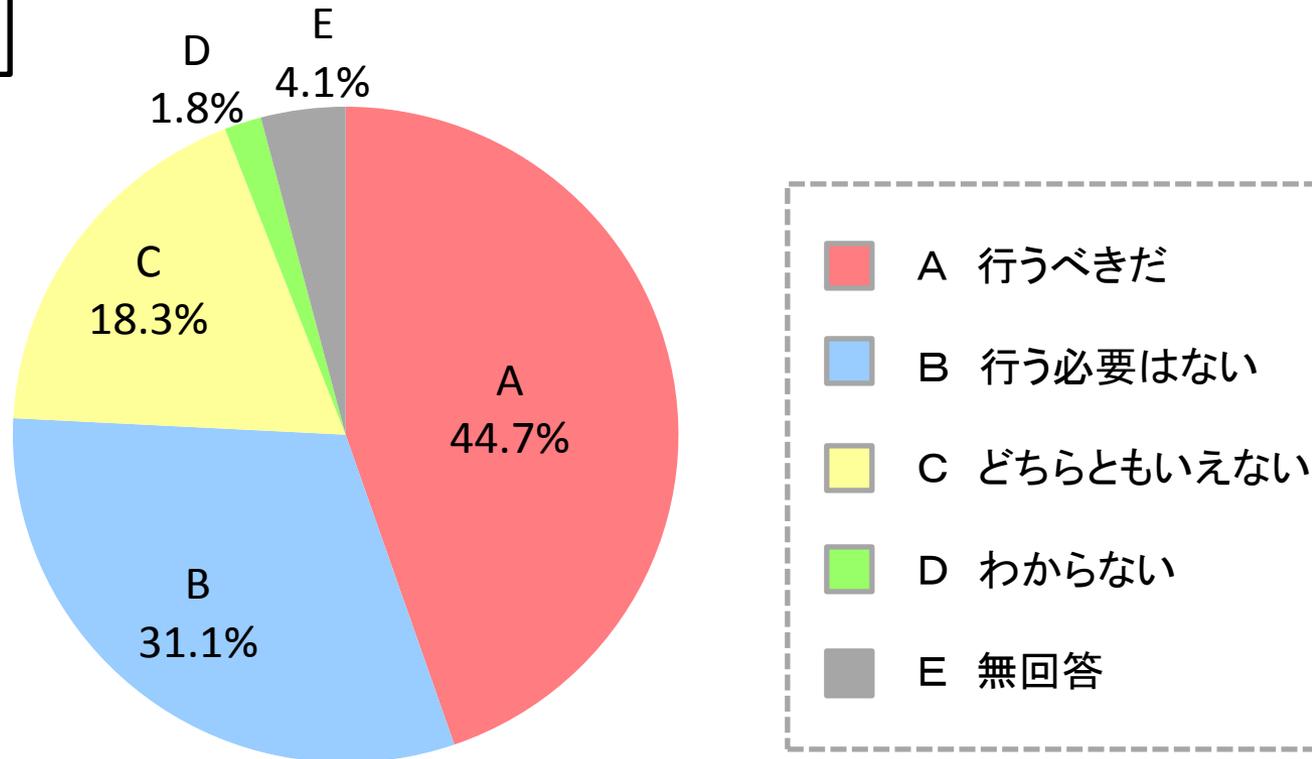


# 菅政権は総選挙を実施すべきか

問9. あなたは、菅政権はなるべく早く総選挙を実施し、自ら実施すべき政策課題に関して国民の信を問うべきと考えますか。【単数回答】

総選挙を実施すべきかについては、44.7%が「行うべき」と回答する一方、「行う必要はない」との回答も31.1%ありました。「どちらともいえない」と判断を留保している人も18.3%にのぼっています。

N=508

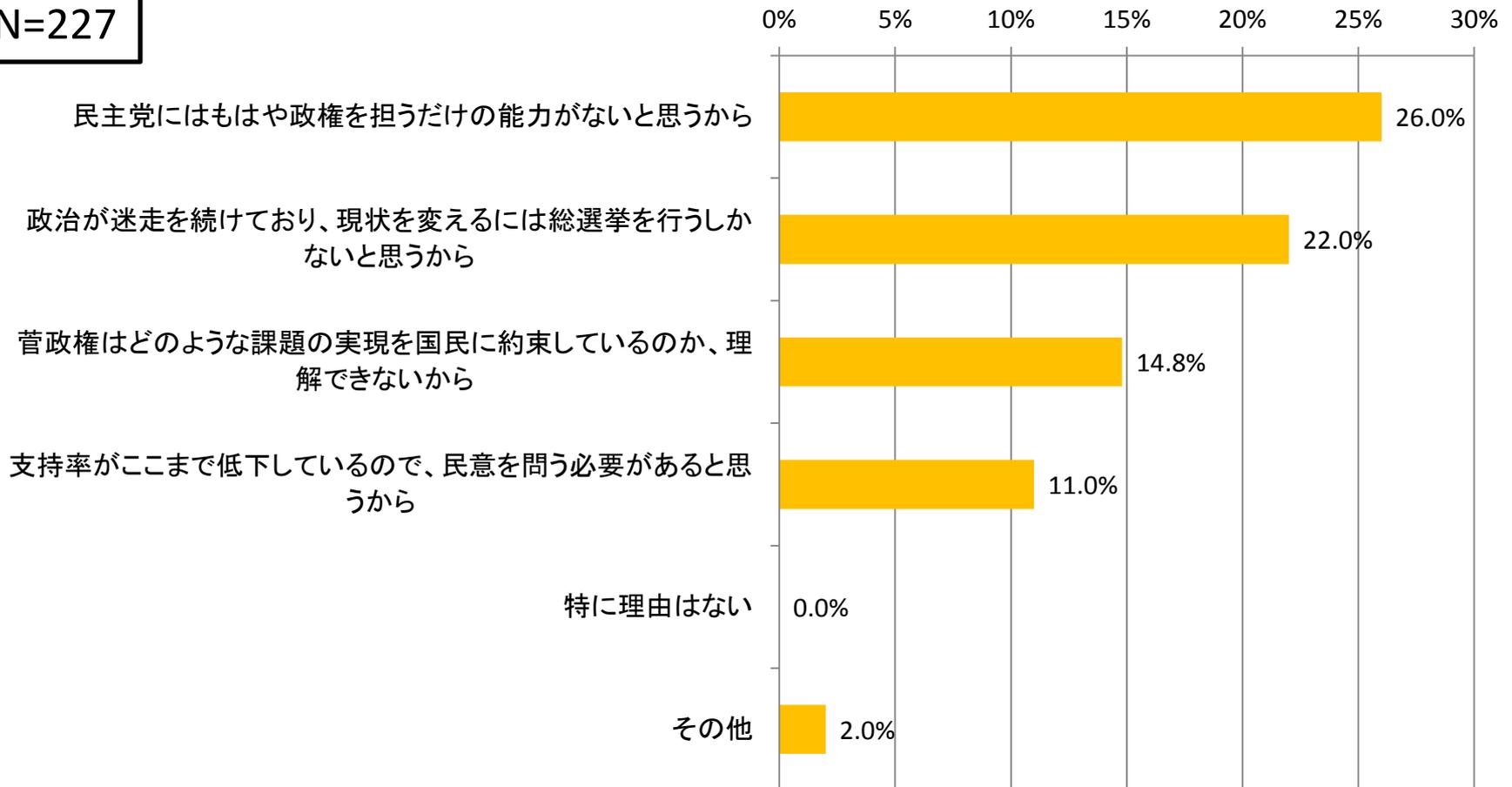


# 総選挙を実施すべき理由

問9. 問9SQ. (問9で「1 行うべきだ」と回答した方)  
そのように考えた理由。【2つまで回答】

総選挙を実施すべき理由としては、「民主党にもはや政権を担うだけの能力がないと思うから」との回答が26.0%と最も多く、「政治が迷走を続けており、現状を変えるには総選挙を行うしか無いと思うから」(22.0%)が続いています。

N=227

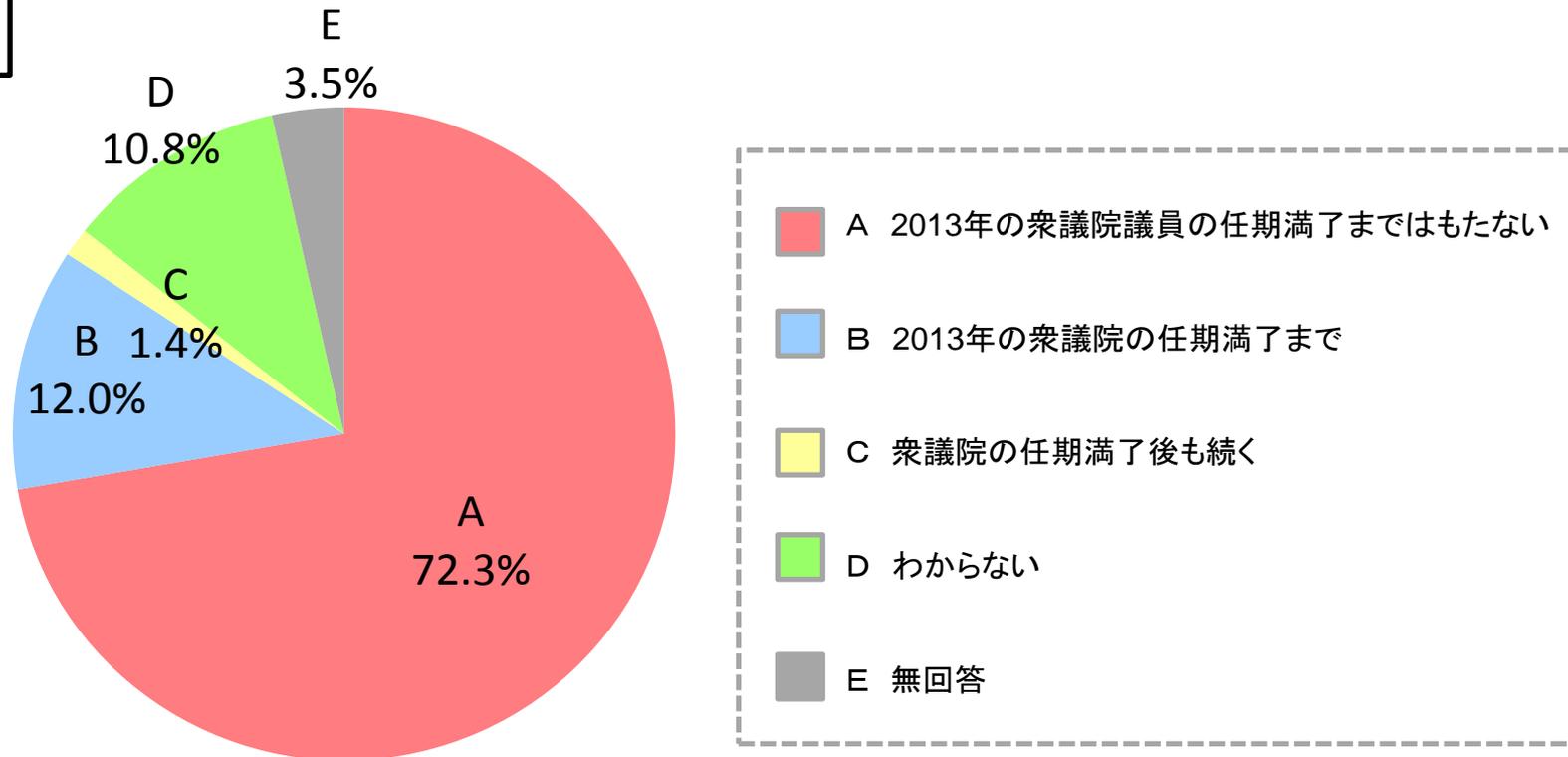


# 菅政権はいつまで続くか

問10. あなたは、菅政権はいつまで続くと思いますか。【単数回答】

7割以上が、「2013年の衆議院議員の任期満了まではもたない」と回答しています。

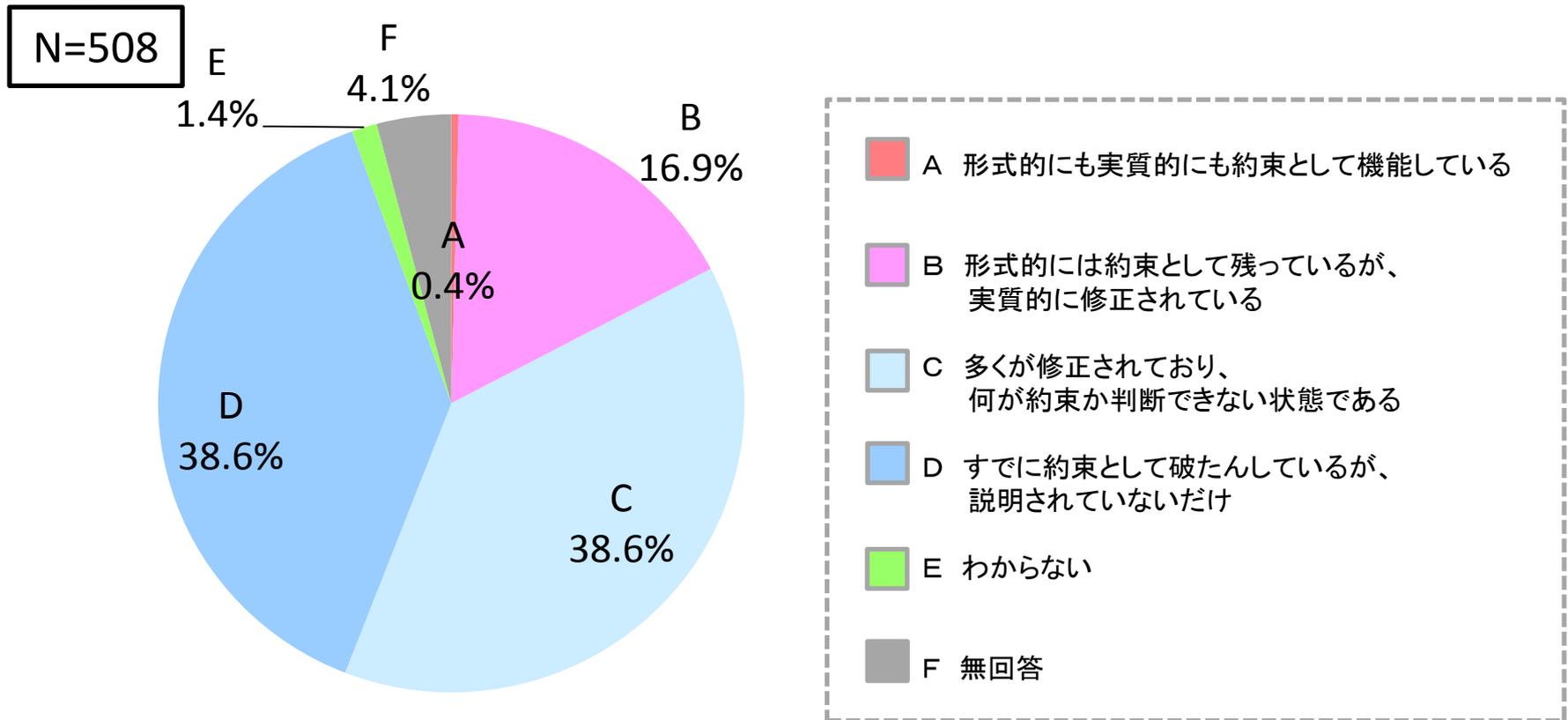
N=508



# 民主党のマニフェストは機能しているか

問11. あなたは民主党のマニフェスト(鳩山政権時のマニフェストと菅政権のマニフェスト)は国民に対する約束として機能していると思いますか。【単数回答】

民主党マニフェストについて、「多くが修正されており、何が約束か判断できない状態にある」(38.6%)、「すでに約束として破たんしているが、説明されていないだけ」(38.6%)と、8割近くの人が否定的に評価しており、「約束として機能している」との回答はわずか0.4%でした。

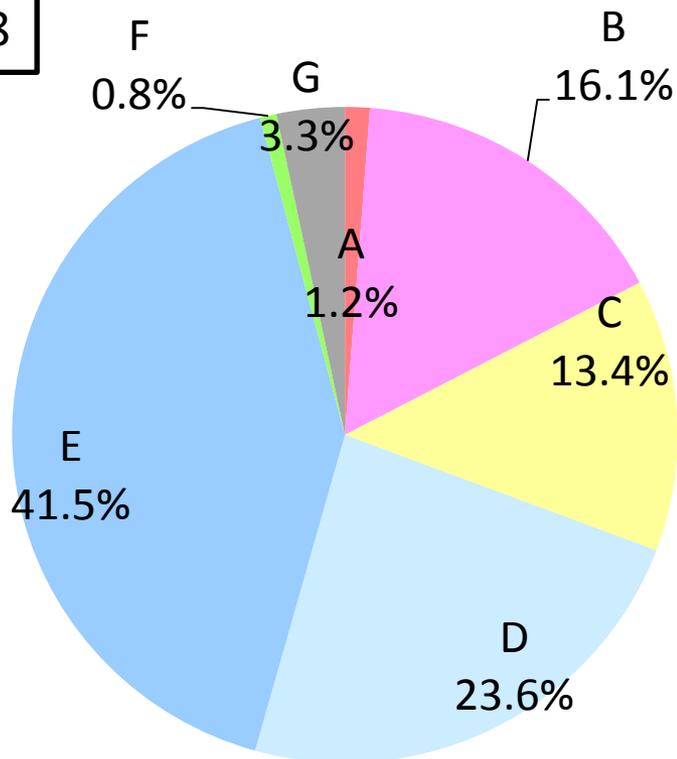


# 現政権に期待しているか

問12. 政権交代後の一年余りの民主党中心の政権を見て、あなたは民主党の政権に期待していますか。【単数回答】

約6割以上が「期待できない」と回答しています。

N=508



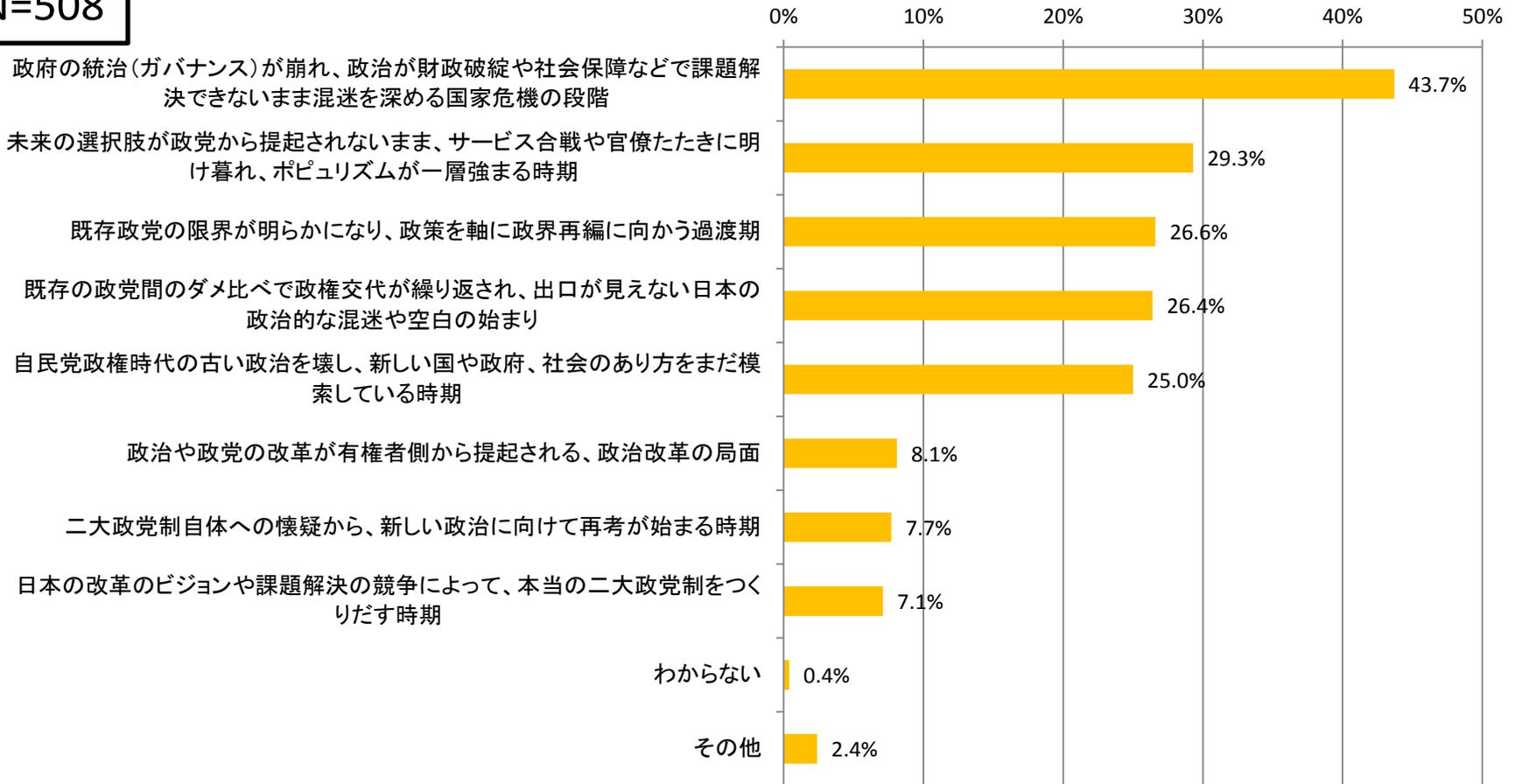
- A 非常に期待できる
- B どちらかといえば期待できる
- C どちらともいえない
- D どちらかといえば期待できない
- E 全く期待できない
- F わからない
- G 無回答

# 日本の政治の現状をどう見るか

問13. あなたは日本の政治の現状をどのように判断していますか。【2つまで回答】

最も多かった回答は、「政府の統治が崩れ、政治が財政破綻や社会保障などで課題解決できないまま混迷を深める国家危機の段階」(43.7%)。「二大政党制をつくり出す時期」との回答はわずか7.1%にとどまりました。

N=508



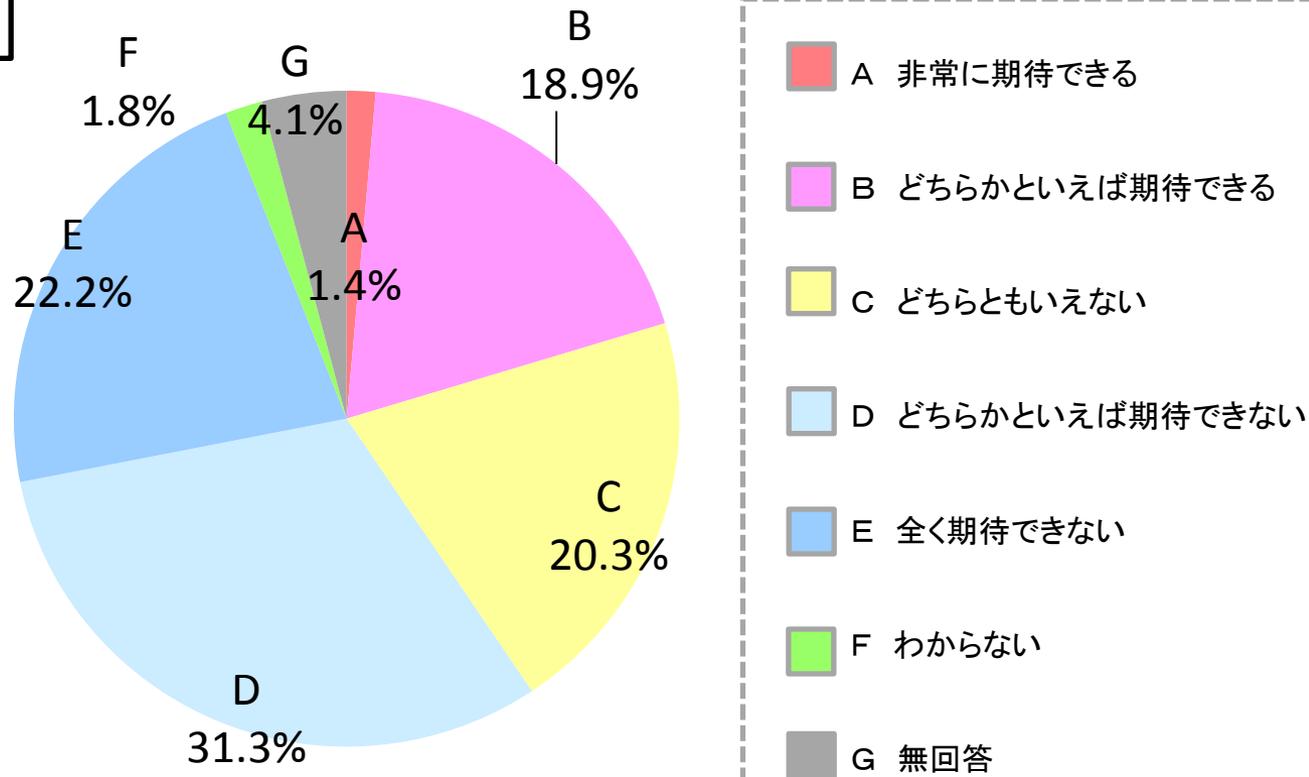
# 今後の自民党に期待できるか

問14. あなたは、野党となった現在の自民党のこれからの期待できますか。

【単数回答】

野党である自民党について、約2割が「期待できる」と回答している一方で、「期待できない」との回答は過半数を超えています。

N=508

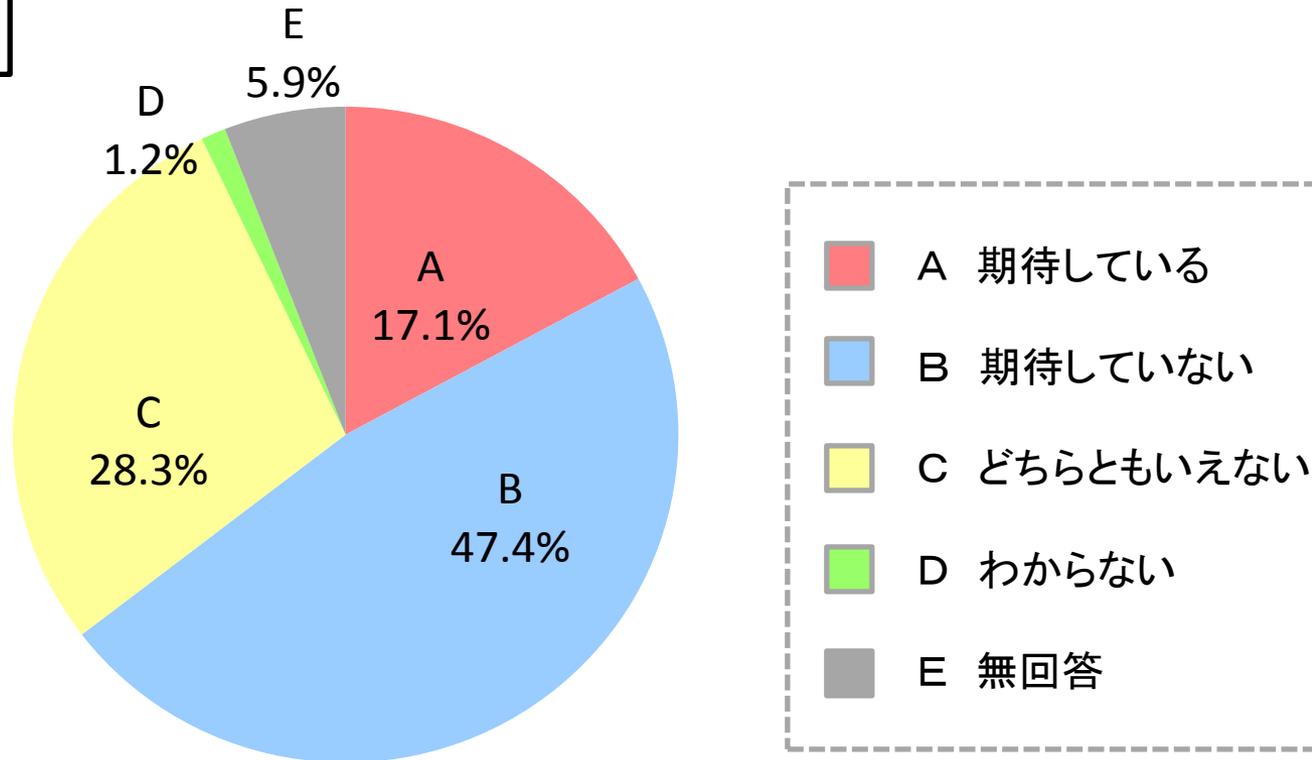


# 現在の日本の政党に期待しているか

問15. あなたは、現在の日本の既存政党に期待していますか。【単数回答】

半数近い人が、現在の日本の既存政党に「期待していない」と回答しています。

N=508

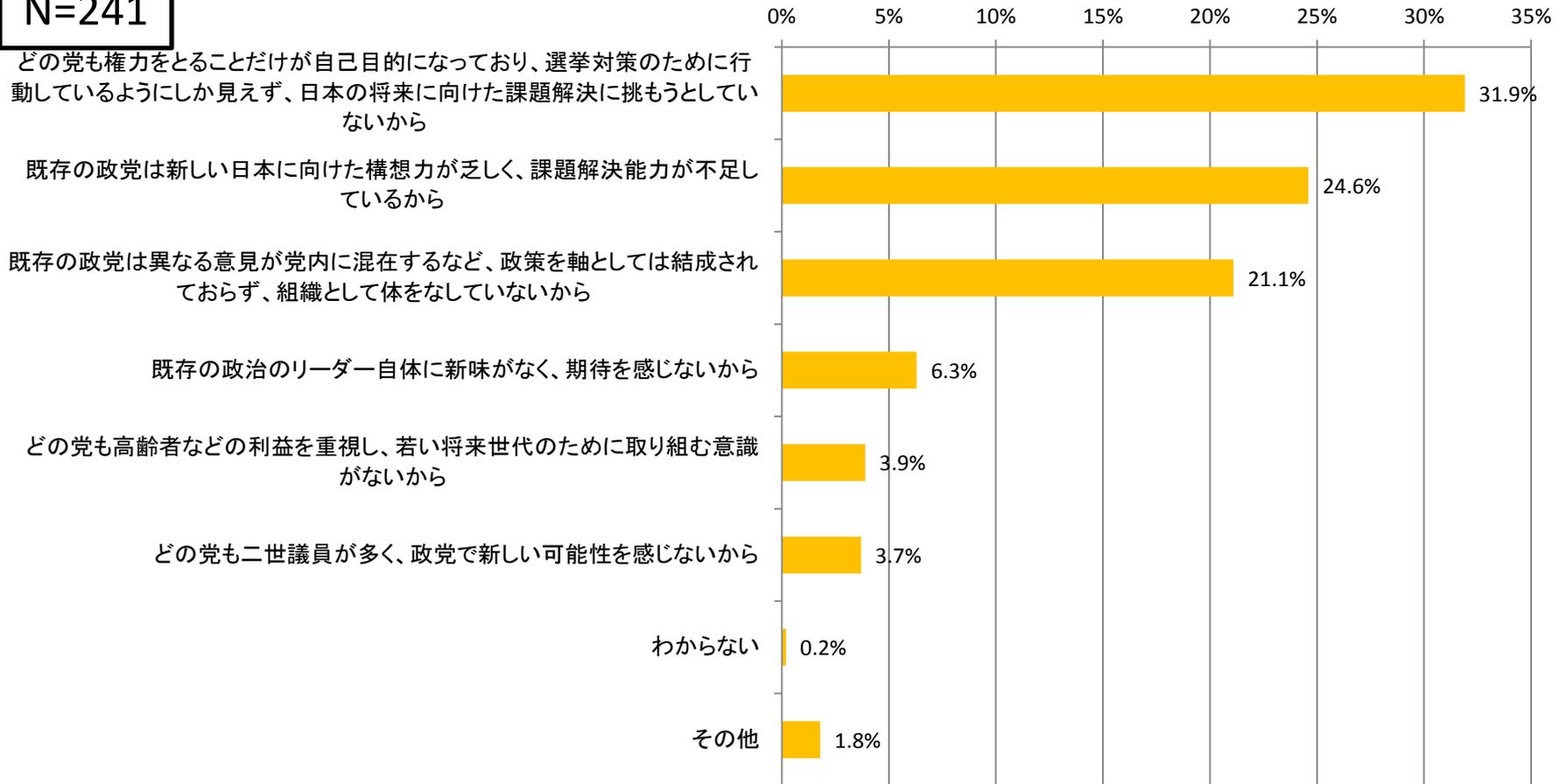


# 既存政党に期待しない理由

問15SQ. (問15で「期待していない」と回答した方) そのように考えた理由は何ですか。  
【2つまで回答】

既存政党に期待できない理由として最も多かったのは、「どの党も権力を取ることが自己目的化し、日本の将来に向けた課題解決に挑もうとしないから」(31.9%)でした。

N=241



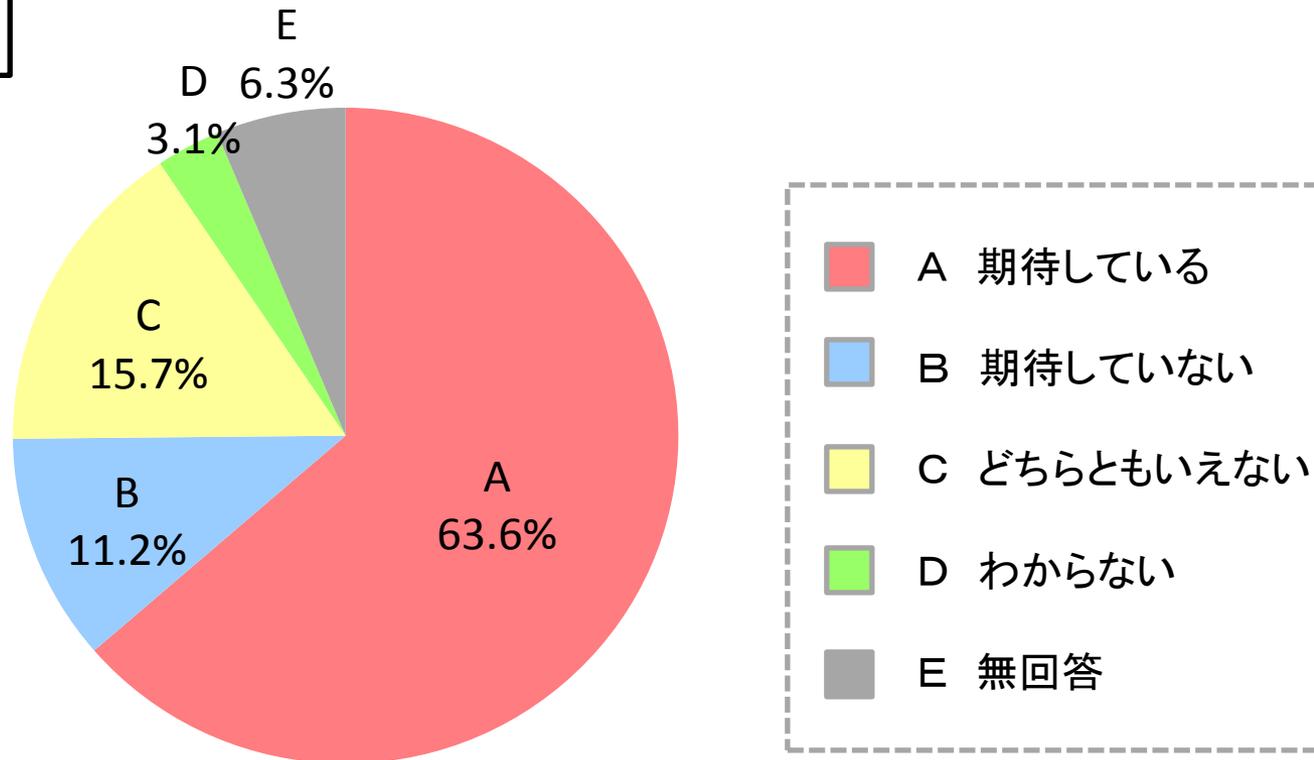
# 政界再編を期待するか

問16. あなたは日本の政治に、政界再編が起こることを期待していますか。

【単数回答】

6割を超える人が、日本の政治に政界再編が起こることを期待しています。

N=508

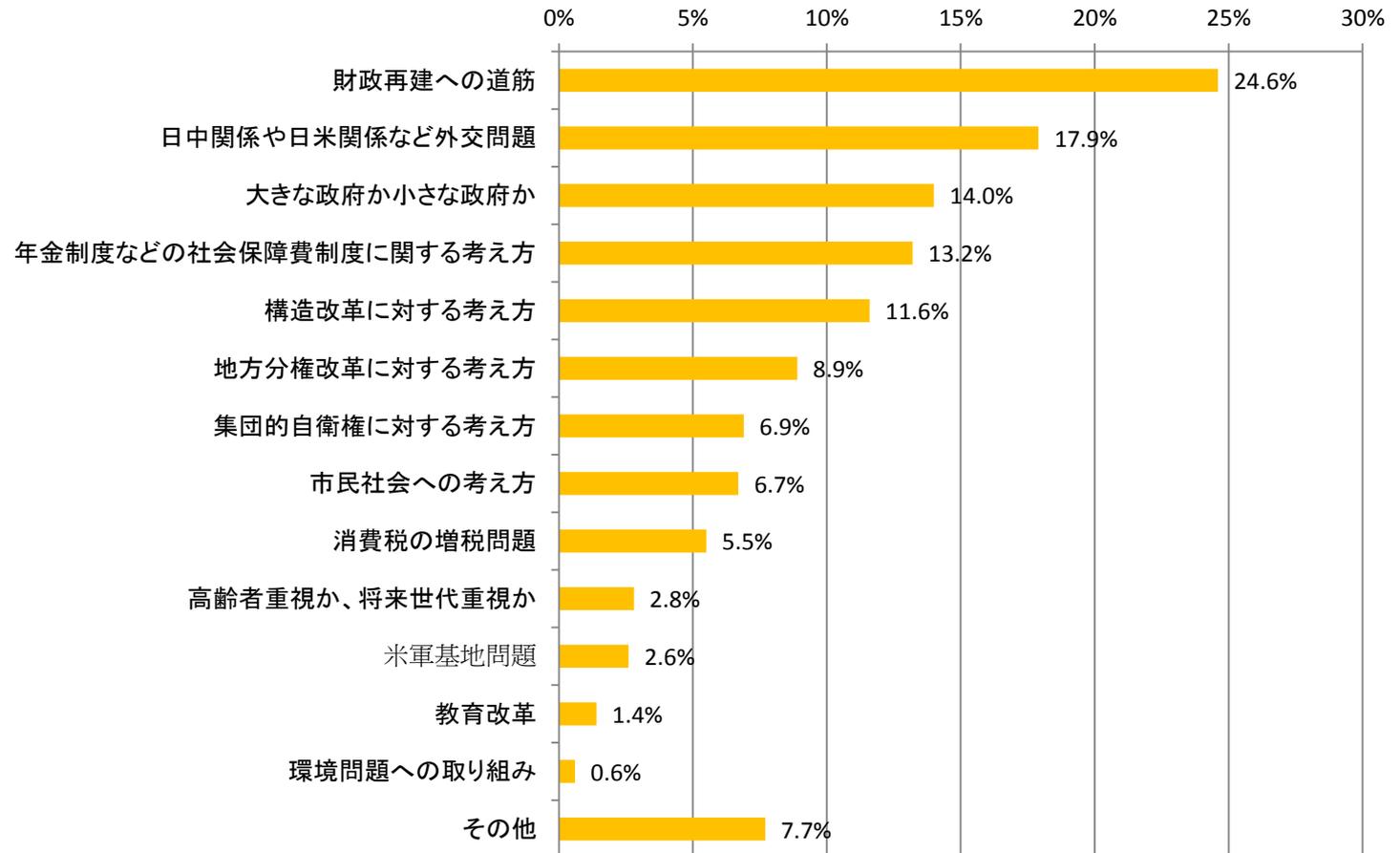


# 政界再編の軸

問16SQ. (問16で「1 期待している」と回答した方)もし、政界再編が起こるとしたら、どのような政策を軸として政界再編が行われるべきだと思いますか。【2つまで回答】

政界再編の軸として、「財政再建への道筋」(24.6%)を挙げる人が最も多く、「日中関係や日米関係など外交問題」(17.9%)、「大きな政府か小さな政府か」(14.0%)が続いています。

N=323



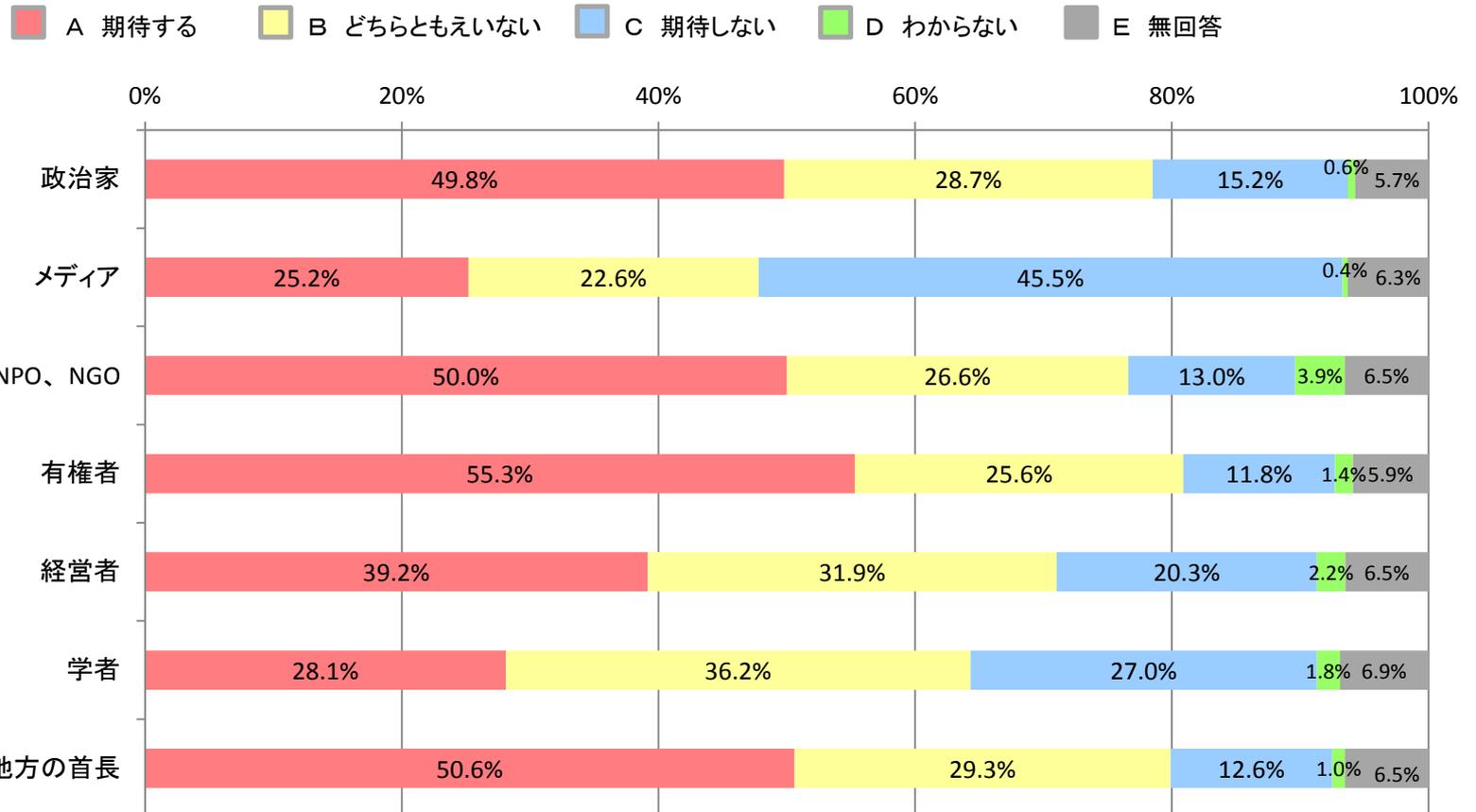
# 誰に期待するか

問17. あなたは今の日本の政治の混迷を打開する主体として誰に期待しますか。

【単数回答】

現在の混迷を打開する主体として最も期待が多かったのは、「有権者」(55.3%)でした。

N=508



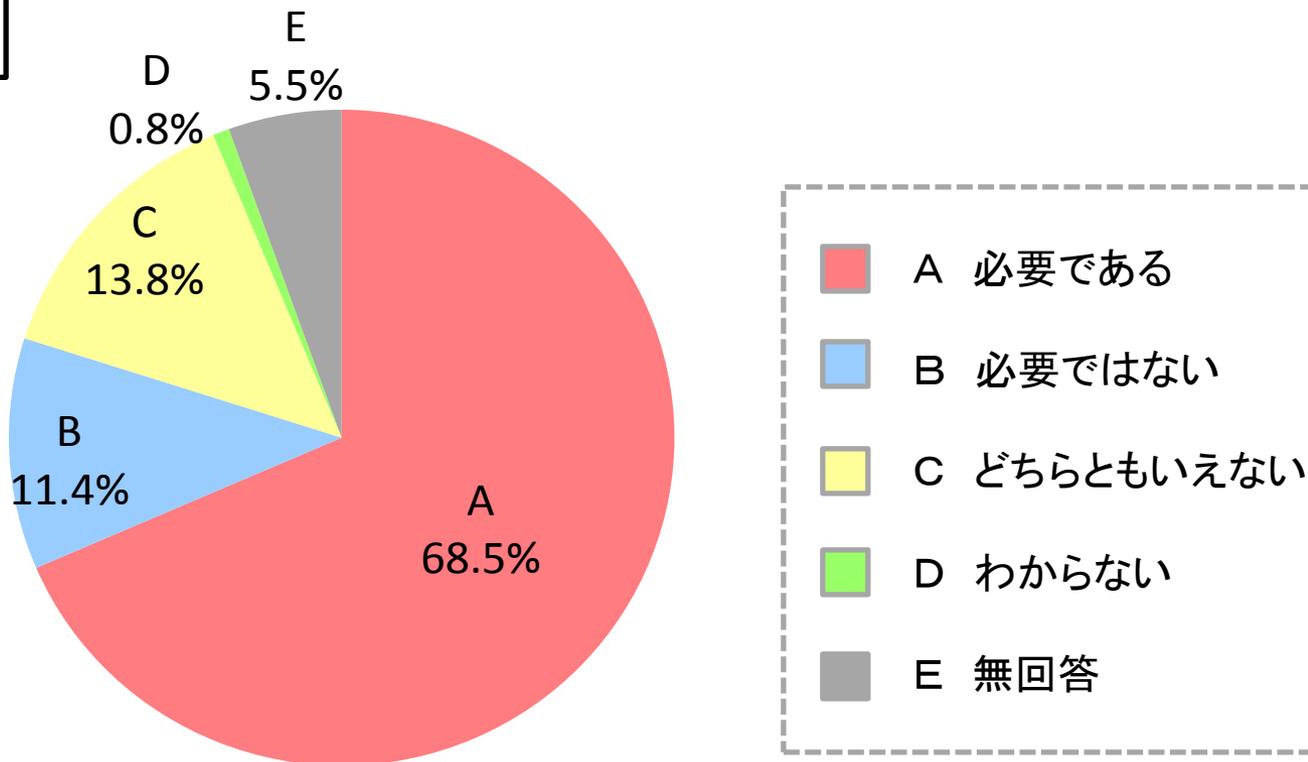
# 日本の政治にマニフェストは必要か

問18. あなたは、日本の政治にマニフェストは必要だと思いますか。

【単数回答】

7割近い人々が、日本の政治にマニフェストが「必要である」と回答しています。

N=508

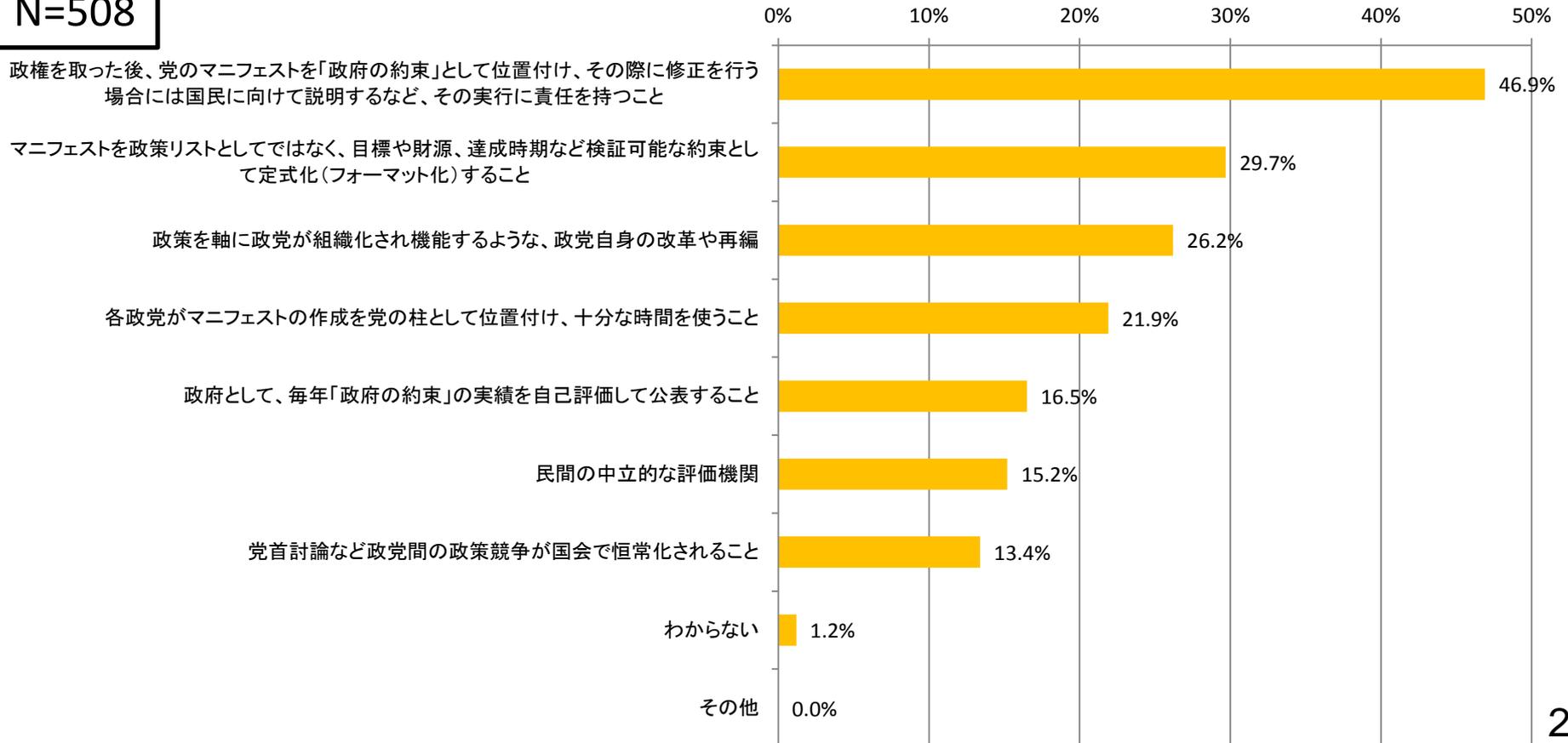


# 国民との約束に基づいた政治を 実現するために必要なこと

問19. マニフェストを軸として国民との約束に基づいた政治を作り出すために、必要なことは何だと思えますか。【2つまで回答】

最も多かったのは「政権を取った後、党のマニフェストを「政府の約束」として位置づけ、その実行に責任を持つこと」(46.9%)。「マニフェストを検証可能な約束として定式化すること」(29.7%)、「政党自身の改革や再編」(26.2%)などが続いています。

N=508



# 日本の政治が取り組むべき最優先の課題

問20. 現在の日本の政治が取り組むべき最優先の課題は何だと思いますか。  
【3つまで回答】

「日本の中長期的な経済成長戦略」を挙げる人が50.0%と最も多く、「財政再建」(39.0%)、「少子高齢化に伴う制度の抜本的な見直し」(38.2%)が続いています。

N=508

